

古代中国の呪術

「列仙全伝」より



入場無料
定員60名
(先着順)

対象：一般
広島市高齢者
いきいき活動
ポイント対象

古代中国の呪術について、まずその発生（呪術の使い手としての巫のことなど）を紹介した上で、**呪術系医術**（当時の経験医学では治療できなかったもの）や、**人の心进行操作する呪術**（男女を相思相愛にさせたり仲違いさせたり、或は真実を述べさせるなど）について紹介します。そして、最後にそのような呪術が後世どういった経緯をたどったかについても紹介します。

メインとする資料は前漢の淮南王劉安（高祖劉邦の孫にあたる）が編纂した『淮南萬畢術（わいなんまんひつじゅつ）』です。ここには古代における様々な呪術が残されています。そしてこの『淮南萬畢術』を補う形で、日本の平安時代に丹波康頼によって編纂された『医心方（いしんぼう）』、こちらは中国の魏晋南北朝期の数多くの資料（現代では既に滅んでしまったもの）を収めています。これらの資料を活用して、古代中国の呪術がどのようなものであったかについてお話しします。

令和6年

2月18日（日）14:00～15:30

広島市立中央図書館 3Fセミナー室

講師

ありま たくや
有馬 卓也 氏

広島大学大学院人間社会科学研究科
教授（中国思想文化学）

申込

いずれかの方法でお申込み下さい
2月1日（木）9:00受付開始

手話通訳、要約筆記の申込は2月7日（水）まで

来館：広島市中区基町3番1号

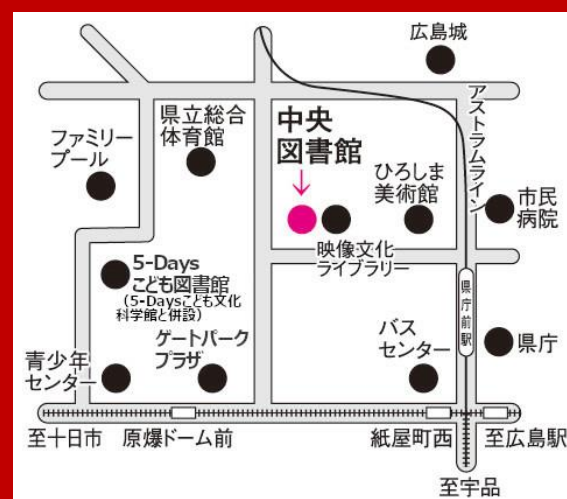
TEL：082-222-5542

FAX：082-222-5545

ホームページの申込フォーム



広島市立中央図書館
ホームページ



主催：広島市立中央図書館・広島大学図書館